

「くまのがっこう」プロデューサー相原博之氏による

コンテンツ活用セミナーの御案内

今、架空の宮城県立高校の生徒が主人公のマンガ「ハイキュー！」や、仙台市出身の女の子がアイドルを目指す「Wake Up Girls!!」など、宮城県を舞台としたアニメやマンガ等のコンテンツが盛んに制作され流行しています。

また、全国各地でキャラクターが制作され、露出する機会が増えています。

一方で、ゆるキャラグランプリに代表されるように、キャラクターどうしの人気争いは白熱化しています。制作したものの本来の目的に活用されていないキャラクターも多数いる状況です。

宮城県では、「宮城・仙台アニメーショングランプリ」の開催をはじめとして、コンテンツを活用した新たなビジネスの創出や市場開拓を目指した取り組みを進めています。

今回は、その一環として、コンテンツやキャラクターを活用する方法について（株）キャラ研代表取締役の相原博之さまに御講演いただきます。

■ セミナーについて

テーマ：「地域活性化のためのコンテンツ活用とは？」

内 容：第一部 地元企業のコンテンツ活用について

キャラクターを取り巻く現在の状況やコンテンツと地域のコラボレーションについて、事例を交えて御講演いただきます。あわせて、コンテンツを活用するメリット、デメリットや注意点等を解説いただきます。

第二部 自社コンテンツの有効活用について

自社（自治体）で保有しているキャラクターを活用する方法を解説いただきます。また、今後自社のキャラクターを作成する際に留意すべき点についても解説いただきます。

日 時：平成 27 年 1 月 14 日（水）セミナー 13:00～15:00（受付開始 12:45）懇親会 15:30～

会 場：TKP ガーデンシティ仙台勾当台（仙台市青葉区国分町 3-6-1 仙台パークビル 3F）

※お車でお越しの際は近隣の有料駐車場を御利用ください。

対 象：キャラクターを活用して売り上げを伸ばす方法に関心・興味のある事業者の皆様
キャラクター活用に関心のある行政機関の皆様 など

参 加 費：セミナー 無料 / 懇親会 お一人につき 1,000 円（当日受付にて承ります）

主 催：宮城・仙台アニメーショングランプリ実行委員会

■ 講師紹介

相原博之（あいはらひろゆき）

キャラクタープロデューサー・絵本作家。1961 年仙台市出身。早稲田大学第一文学部卒。

バンダイキャラクター研究所所長を経て、現在（株）キャラ研代表取締役。

自らストーリーも手がける絵本キャラクター「くまのがっこう」は市場規模 100 億円の大ヒットとなり、台湾、韓国をはじめ海外でも人気に。姉妹キャラクターである NHK アニメ「がんばれ！ルルロロ」シリーズもヒットし、市場規模は 1 年で 20 億円。キャラクター研究分野での活動も多く、東京大学大学院情報学環特任研究員等を歴任。震災以降、仙台市と協力し、チャリティコンサート、保育園への訪問などの活動も続けている。

■ お申込み・お問い合わせ先

宮城県企画部情報産業振興室 大宮

TEL:022-211-2479 FAX:022-211-2496 メールアドレス:omiya-yu970@pref.miyagi.jp